

平成30年2月9日

杉並区議会議長
富本 卓 様

文化芸術・スポーツに関する特別委員会
委員長 吉田 あい

文化芸術・スポーツに関する特別委員会活動経過報告書

文化芸術・スポーツに関する特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

記

1 平成29年12月4日

(1) 報告聴取

ア 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた東京都等の動きについて

(ア) 大会マスコット

- ・29年8月にマスコットデザインの募集が行われ、応募作品2,042件の中から、審査により3案を選び、これに対して全国の小学生のクラス単位での投票を29年12月11日から30年2月22日まで実施する。
- ・区としても、子供たちが直接大会に関わる貴重な機会となるため、全クラスで実施し、選考結果は2月28日に発表される。

(イ) 東京2020大会におけるボランティア

- ・組織委員会が運営主体となる「大会ボランティア」と都が運営主体となる「都市ボランティア」があり、合計9万人以上の規模を想定している。
- ・ボランティアの募集は30年の夏頃を予定しており、区は参加意欲のある区民がボランティア活動に参加し、一人一人が大会の担い手であると実感できる方法について、都などと連携し、検討する。

(ウ) 東京2020 聖火リレー

- ・組織委員会は29年8月、IOCにオリンピック聖火リレーコンセプトを提出し、30年2月にはパラリンピックのコンセプトをIPCに提出予定である。
- ・今後、具体的なルート検討や、ランナーの選定が行われる予定である。

- ・区は区内での実施に向け、都内全区市町村での実施を主張する都とも連携し、あらゆる場を活用し、関係者に働きかけている。

(エ) 1000 日前カウントダウンイベント及び「1000 Days to Go!」月間の取組

- ・都と組織委員会等により、東京オリンピック及びパラリンピック競技大会開催まで1000 日前の節目となる10月28日と11月29日にカウントダウンイベントが実施された。

- ・両日をつなぐ約1カ月間を「1000 Days to Go!」月間とし、区も、東京スカイツリーで実施された、パラスポーツの魅力発信企画展示に、女子美術大学の協力のもと、5作品を展示した。

イ 杉並区スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」の改定案の策定について

(ア) 計画改定の趣旨

- ・日常生活に身近な「健康づくり」を切り口とした、スポーツ・運動への関心を高める取組に加え、その成果と課題や区民スポーツの実態、社会状況の変化を踏まえ、将来像である「健康スポーツライフ杉並～始める 続ける 広がる スポーツを通じた絆のあるまち」の推進を図る。

(イ) 計画改定の視点

- ・アンケートによる区民スポーツの実態に合わせ、取組の充実や見直しを図る。

- ・フレイル予防などの健康寿命の延伸や障害者スポーツの振興など、社会的に関心が高まった課題を盛り込む。

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催をスポーツに親しむ契機と捉え、有益なレガシーの創出に取り組む。

(ウ) 計画の位置づけと期間

- ・スポーツ基本法に基づく地方スポーツ推進計画であり、杉並区基本構想や教育ビジョン2012との整合を図った総合的なスポーツ推進の計画である。

- ・期間は30年度から33年度（総合計画最終年度）までの4年間とする。

(エ) 目標及び事業体系

- ・5つの目標を定め、7つの柱のもと14項目（63事業項目）で取り組む。

(オ) 計画の推進に向けて

- ・行政のほか、区民やスポーツ団体と連携して取り組み、健康スポーツライフ杉並プラン推進懇談会により進行管理等を行い、着実な推進を図る。